

PRESS RELEASE

新国立劇場 2023/2024シーズン 演劇

# デカローク 5・6

[プログラムC上演]

「トリコロール」三部作、『ふたりのペロニカ』で知られる  
ポーランド出身の世界的映画監督クシシュトフ・キエシロフスキ。  
彼が遺した傑作『デカローク』十篇全てを小川絵梨子、上村聡史の演出で完全舞台化！



福崎那由他

渋谷謙人

寺十 吾



亀田佳明



仙名彩世

田中 亨

2024年5月18日(土)～6月2日(日) 新国立劇場 小劇場

【写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ】

新国立劇場 制作部演劇 広報担当 杉田

TEL: 03-5352-5738 FAX: 03-5352-5737

E-mail: sugita\_a8863@nntt.jac.go.jp

〒151-0071 東京都渋谷区本町 1-1-1

 新国立劇場  
NEW NATIONAL THEATRE TOKYO

## 作品について

『殺人に関する短いフィルム』『愛に関する短いフィルム』というタイトルで  
テレビ放映に先駆け劇場公開もされた5話と6話。  
カンヌ国際映画祭で審査員賞に輝くなど、国際的な評価を得るきっかけとなった2話を  
「プログラム C」として5-6月に上演！

「トリコロール」三部作、『ふたりのベロニカ』で知られる、ポーランドの名匠クシシュトフ・ケシロフスキが発表した『デカローク』。旧約聖書の十戒をモチーフに 1980 年代のポーランド、ワルシャワのとある団地に住む人々を描いた十篇の連作集です。人間を裁き断罪するのではなく、人間を不完全な存在として認め、その迷いや弱さを含めて向き合うことが描かれたこの作品は、人への根源的な肯定と愛の眼差しで溢れています。

十篇の物語は、オムニバス形式のそれぞれが独立した 1 時間前後の作品です。別々の作品でありながら、緩やかにリンクし、実はひそかなつながりを持っているという隠された楽しみも見つけることができます。

もともとテレビ放映用ミニ・シリーズとして 1987-1988 年にかけて撮影されたこの作品は、テレビ放映前に「デカローク5」と「デカローク6」を劇場公開バージョンに編集し『殺人に関する短いフィルム』『愛に関する短いフィルム』として 1988 年に発表、カンヌ国際映画祭審査員賞を受賞するなど国際的に高い評価を受けました。その後、テレビシリーズも 1989 年ヴェネツィア国際映画祭で上映、後に世界で劇場公開されました。

スタンリー・キューブリック、エドワード・ヤン、ホウ・シャオシェンなど世界の映画作家が賞賛の声を贈った、この十篇の物語を **2024 年 4 月～7 月、新国立劇場にて完全舞台化**いたします！

上演台本を、ロイヤルコート劇場との共同プロジェクト、劇作家ワークショップ発の作品『私の一ヶ月』（2022 年）の作家、**須貝 英**が担当。演出には、新国立劇場演劇芸術監督の**小川絵梨子**、そして上演時間計7時間半の『エンジェルス・イン・アメリカ』二部作（2023 年）の演出を手掛けたことも記憶に新しい、**上村聡史**の二人があたります。

そして、全篇に登場する、登場人物たちを見守る”天使“と呼ばれる存在。物語ごとに全く違う職業の人間になり、各エピソードの主人公の選択や岐路には関与せず、ただ見守ります。その難役を、小川、上村両名が信頼を寄せる、**亀田佳明**が担います。

全 10 話を大きく 3 つのブロックに分け、4～5 月は『デカローク1～4』（プログラム A・B）を、5～6 月は『デカローク5～6』（プログラム C）を、そして 6～7 月は『デカローク7～10』（プログラム D・E）を上演します。

5～6 月に上演する『デカローク 5～6』では、小川絵梨子が 5 話「ある殺人に関する物語」の演出を担当し、そして上村聡史が 6 話「ある愛に関する物語」の演出を担当いたします。

各話、十戒の戒律に対応しており、5話は「殺してはならない」、6話は「姦淫してはならない」をモチーフとしています。

全話通して、総勢 40 名以上の出演者と共に、公演期間約3カ月という前例のない大規模プロジェクトとなる本作に、どうぞご期待ください。



3月に実施した制作発表会見の様子。  
総勢 43 名が登場。 撮影:阿部章仁

## 各話のあらすじ

### プログラム C(デカログ5、デカログ6)

#### デカログ5 ある殺人に関する物語



福崎那由他

渋谷謙人

寺十 吾



亀田佳明

#### タクシー運転手を殺害した青年と、若い弁護士。死刑判決を受けた青年を救えなかった弁護士の悲嘆。

20歳の青年ヤツェク(福崎那由他)は、街中でたまたま、傲慢で好色な中年の運転手ワルデマル(寺十 吾)のタクシーに乗り込み、人気のない野原で運転手の首を絞め、命乞いする彼を撲殺する。殺人により法廷で有罪判決を受けたヤツェクの弁護を担当したのは、新米弁護士のピョトル(渋谷謙人)だった.....。

演出:小川絵梨子

出演:福崎那由他 渋谷謙人 寺十 吾

齊藤直樹 内田健介 名越志保 田中 亨 坂本慶介

亀田佳明

#### デカログ6 ある愛に関する物語



仙名彩世

田中 亨



亀田佳明

#### 向かいのアパートに住む魅力的な女性の部屋を望遠鏡で覗く青年の何も求めない愛とは？

友人の母親と暮らす19歳の孤児トメク(田中 亨)は、地元郵便局に勤めている。彼は向かいに住む30代の魅力的な女性マグダ(仙名彩世)の生活を日々望遠鏡で覗き見していた。マグダと鉢合わせしたトメクは、彼女に愛を告白するが、自分に何を求めているのかとマグダに問われてもトメクは答えられない。その後デートをした二人、マグダはトメクを部屋に招き入れるが.....。

演出:上村聡史

出演:仙名彩世 田中 亨

寺十 吾 名越志保 齊藤直樹 内田健介

亀田佳明



## スタッフプロフィール

### 〔原作〕 クシシュトフ・ケシロフスキ Krzysztof Kieślowski

1941年6月27日、ポーランド・ワルシャワ生まれ。幼少期は父の仕事の都合で、ポーランド中を転々とする生活を送った。57年に舞台演出家を目指し国立演劇専門学校に入学するが、在学中に映画監督への道を志し、卒業後にロマン・ポランスキーやアンジェイ・ワイダなどを輩出したウッチ映画大学に入学した。66年に初の短編映画を製作。以後、80年までにドキュメンタリーを中心に多くの短編映画を手掛け、政治活動も活発に行う。76年、初の長編劇映画『傷跡』で劇場長編デビュー。2作目の『アマチュア』でモスクワ国際映画祭グランプリを受賞、シカゴ国際映画祭でゴールデン・ヒューゴ賞を受賞した。しかし検閲が厳しくなるとともに、ケシロフスキの活動も制限されるようになる。81年の『偶然』は検閲による上映禁止処分を受け、6年後の87年に公開された。

その後、88年から聖書の十戒をモチーフとした10編からなる長編TVシリーズ『デカログ』を製作。本作の完成前に第5話と第6話を劇場公開用に編集した『殺人に関する短いフィルム』と『愛に関する短いフィルム』を発表。カンヌ国際映画祭審査員賞を受賞するなど国際的に高い評価を受ける。『デカログ』はヴェネツィア国際映画祭審査員特別賞を受賞し、映画監督のスタンリー・キューブリックから「重要な映画」と激賞された。

91年にはポーランドとフランスを舞台にした『ふたりのベロニカ』を発表。再びカンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞を受賞し、主演のイレーヌ・ジャコブも主演女優賞を受賞した。93年からはフランス政府の依頼でフランス国旗の三色の象徴「自由・平等・博愛」をモチーフにした「トリコロール」三部作を製作する。93年に第1作となる『トリコロール/青の愛』を発表。ヴェネツィア国際映画祭金獅子賞を受賞、主演のジュリエット・ビノシュは主演女優賞を受賞した。

「トリコロール」三部作を完結させた後、映画監督を引退することを宣言するが、95年に復帰。ダンテの『神曲』をモチーフにした「地獄篇・地上篇・天上篇」三部作の脚本に取り掛かる。しかし、長年患ってきた心臓病の手術を拒否し、96年に心臓発作でこの世を去った。遺稿となった「天上篇」は2002年にトム・ティクヴァ監督により『ヘヴン』として映画化。「地獄篇」「地上篇」は残りをクシシュトフ・ピエシェヴィチが書き上げ、「地獄篇」は05年にダニス・タノヴィッチ監督により『美しき運命の傷痕』として映画化された。「地上篇」はまだ製作されていない。



### 〔翻訳〕 久山宏一 KUYAMA Koichi

ポーランド・ロシア文化研究、ポーランド語翻訳・通訳。東京外国語大学等非常勤講師。ポーランドのアダム・ミツキューヴィチ大学にてスラヴ文学博士号取得。

著書に『ミツキューヴィチのソネットとロマン主義期のロシア・ソネット』（ポーランド語）、訳書にスタニスワフ・レム『大失敗』『捜査』（国書刊行会）、アダム・ミツキューヴィチ『ソネット集』『コンラット・ヴァレンロット』（未知谷）など。タデウシュ・スウォボジャネク『NASZA KLASA（ナシャ・クラサ）』（文学座・高瀬久男演出）共訳。

2019年に世界にポーランドの演劇文化を普及させたことに対して国際演劇協会ポーランドセンターのヴィトキューヴィチ記念賞が授与された。



### 〔上演台本〕 須貝 英 SUGAI Ei

早稲田大学第一文学部美術史学科卒。2007～13年まで「箱庭円舞曲」に俳優として所属。10年に「monophonic orchestra」を旗揚げ。脚本家・演出家・俳優・ワークショップ講師として活動する一方、20年から「Mo'xtra」を主宰。これまでの主な劇作・演出作品に穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主催・高校生と創る演劇『滅びの子らに星の祈りを』、海外ミステリーを原案とした Mo'xtra Produce『グリーン・マダー・ケース×ビショップ・マダー・ケース』があるほか、舞台『オリент急行殺人事件』の構成協力、舞台・映画脚本の執筆サポートなど多岐に渡って活動している。脚本を務めた映画『カラオケの夜』が門真国際映画祭2019にて映画部門最優秀作品賞を受賞。新国立劇場では22年に『私の一ヶ月』の脚本を担当。



## **[演出]** 小川絵梨子 OGAWA Eriko

2004年、ニューヨーク・アクターズスタジオ大学院演出部卒業。06～07年、平成17年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修生。18年9月より新国立劇場の演劇芸術監督に就任。近年の演出作品に『ART』『おやすみ、お母さん』『管理人／THE CARETAKER』『ダウト～疑いについての寓話』『検察側の証人』『ほんとうのハウンド警部』『死と乙女』『熱帯樹』『出口なし』『FUN HOME』『死の舞踏／令嬢ジュリー』『RED』など。新国立劇場では『レオポルトシュタット』『アンチポデス』『キネマの天地』『タージマハルの衛兵』『骨と十字架』『スカイライト』『1984』『マリアの首-幻に長崎を想う曲-』『星ノ数ホド』『OPUS／作品』の演出のほか、『東京ローズ』『かもめ』『ウインズロウ・ボーイ』の翻訳も手掛けた。



## **[演出]** 上村聡史 KAMIMURA Satoshi

2001年文学座附属演劇研究所入所、18年に同劇団を退座し、現在はフリーで活動。09年より文化庁新進芸術家海外留学制度において1年間イギリス・ドイツに留学。第22回・第29回読売演劇大賞最優秀演出家賞、第17回千田是也賞、第56回紀伊國屋演劇賞を受賞。近年の主な演出作品に、『夜は昼の母』『My Boy Jack』『野鴨-Vildanden-』『ガラスの動物園』『森 フォレ』『Oslo(オスロ)』など。新国立劇場では、『エンジェルズ・イン・アメリカ』『斬られの仙太』『オレステイア』『城塞』『アルトナの幽閉者』を演出。

## 出演者プロフィール

### プログラムC (デカログ5、デカログ6)

#### デカログ5



## **福崎那由他** FUKUZAKI Nayuta

2012年、ドラマ『遺留捜査』で俳優デビュー。14年、映画『もういちど』で映画初出演を果たす。これまでの主な出演に連続テレビ小説『スカーレット』、ドラマ『最高の教師 1年後、私は生徒に■された』『陰陽師』『相棒』、映画『サムライマラソン』『いぬやしき』『光』『るろうに剣心 伝説の最期編』などがある。

【主な舞台】『GOOD BOYS』『October Sky -遠い空の向こうに-』『黒執事 地に燃えるリコーズ』など。



## **渋谷謙人** SHIBUYA Kento

1998年、俳優デビュー。2002年、NHK『どっちがどっち』で初主演。これまでの主な出演に『ソロ活女子のススメ シリーズ』『恋する警護24時』、連続テレビ小説『らんまん』、映画『太陽とボレロ』『劇場版 ラジエーションハウス』『アイアムアヒーロー』『残穢-住んではいけない部屋-』『MONSTERZ』『妖怪人間ベム』などがある。

【主な舞台】『盗聴』『Navy Pier 埠頭にいて』『アンチゴーヌ』『怒りの旅団』『Take me out』『露出狂』『HISTORY BOYS／ヒストリーボーイズ』『コルトガバメンツ』など。



## 寺十 吾 JITSUNASHI Satoru

主宰劇団「tsumazuki no ishi」にて演出・出演を担い、外部演出、俳優としても活躍する。これまでの主な出演に、映画『風待ち』『オケ老人！』『星ガ丘ワンダーランド』『シュトルム・ウント・ドラックツ』、ドラマ『悪党～加害者追跡調査』『精霊の守り人』など。近年の演出舞台に『桜文』『目頭を押さえた』『ピローマン The PillowMan』『父と暮せば』『ジャスパー・ジョーンズ』『関数ドミノ』など。シス・カンパニー日本文学シリーズでは全作品の演出を担当。新国立劇場では、『誰もいない国』の演出を手掛けた。

【主な舞台】『田園に死す』『川辺市子のために』『天使の群像』『ベッドに縛られて』『真夜中の弥次さん喜多さん』『あの記憶の記録』『お勢登場』『ピローマン』『12人～奇跡の物語～』『PW』、新国立劇場では『1001』に出演。

## デカローグ6



## 仙名彩世 SENNA Ayase

2008年、宝塚歌劇団に首席入団し、『ME AND MY GIRL』で初舞台。17年、花組トップ娘役に就任。『仮面のロマンス／EXCITER!!2017』『ポーの一族』『あかねさす紫の花/Santé!!～最高級ワインをあなたに～』多数の舞台に出演後、19年に『CASANOVA』で宝塚歌劇団を退団。

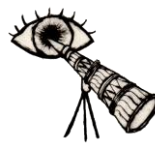
【主な舞台】『のだめカンタービレ』『ジェーン・エア』『夜来香ラプソディ』『ミス・サイゴン』『ゴヤ-GOYA-』『シャボン玉とんだ 宇宙までとんだ』など。



## 田中 亨 TANAKA Toru

2015年より俳優としての活動をスタート。これまでの主な出演にドラマ『民宿のかくし味』『私のエレガンス』『わけもん～長崎通訳異聞～』『クロシリ 彼女が教える禁断の心理術』『先生を消す方程式。』、NHK連続テレビ小説『スカーレット』など。

【主な舞台】『パートタイマー・秋子』『ロミオとジュリエット』『おわたり』『ブレッキング・ザ・コード』『あつい胸さわぎ』『かがみの孤城』『ぼくのメジャースプーン』『あぶくの流儀』『母MATKA』『墓場なき死者』『喜劇 なにわ夫婦八景 米朝・絹子とおもろい弟子たち』など。新国立劇場では『レオポルトシュタット』に出演。



## 亀田佳明 KAMEDA Yoshiaki

文学座所属。劇団公演『モンテ・クリスト伯』にて初舞台以降、舞台を中心に活動。これまでの主な出演に映画『検察側の罪人』、連続テレビ小説『らんまん』など。『タージマハルの衛兵』『ガラスの動物園』にて第54回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。

【主な舞台】『パートタイマー・秋子』『ブレッキング・ザ・コード』『ライカムで待っとく』『ダウト～疑いについての寓話』『森 フォレ』『ピサロ』『岸 リトラル』など。新国立劇場では『終わりよければすべてよし』『尺には尺を』『アンチポデス』『リチャード二世』『タージマハルの衛兵』『ヘンリー五世』『マリアの首～幻に長崎を想う曲～』『ヘンリー四世』『三文オペラ』『るつぽ』に出演。

## 公演概要

【タイトル】『デカローグ 5・6』[プログラムC上演]

原作:クシシュトフ・ケシロフスキ/クシシュトフ・ピエシェヴィチ

翻訳:久山宏一

上演台本:須貝 英

演出:小川絵梨子/上村聡史

美術:針生 康

映像:栗山聡之

照明:松本大介

音楽:阿部海太郎

音響:加藤 温

衣裳:前田文子

ヘアメイク:鎌田直樹

演出助手:長町多寿子/西 祐子

舞台監督:濱野貴彦 清水浩志

総合舞台監督:齋藤英明

主催:新国立劇場

後援:ポーランド共和国大使館 / ポーランド広報文化センター

Supported by Embassy of the Republic of Poland / Polish Institute in Tokyo

### 【キャスト】

#### プログラムC

<デカローグ5>

福崎那由他、渋谷謙人、寺十 吾/斉藤直樹、内田健介、名越志保、田中 亨、坂本慶介/亀田佳明

<デカローグ6>

仙名彩世、田中 亨/寺十 吾、名越志保、斉藤直樹、内田健介/亀田佳明

【会場】 新国立劇場 小劇場

【公演日程】2024年5月18日(土)~6月2日(日)

5月	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
13:00	C	C	休演日	C	C			C	C	休演日	C	C
19:00							C	C				

5月	30	31	6月	1	2
曜日	木	金	曜日	土	日
13:00			13:00	C	C
19:00	C	C	19:00		

※開場は開演の30分前です。

【料金(税込)】A席 7,700円/B席 3,300円

【一般発売】 発売中

【チケット申し込み・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>

\* **Z席1,650円** Z席(各日10席)は、公演当日朝10:00から、新国立劇場Webボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。先着販売後、残席がある場合は、公演当日朝11:00からボックスオフィス窓口でも販売いたします。※電話予約不可。

\* **当日学生割引** 公演当日残席がある場合、Z席を除く全ての席種について50%割引にて販売。要学生証。電話予約可。

\* **各種割引** 新国立劇場では、高齢者割引(65歳以上5%)、障がい者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(小中学生20%)、アトレ会員割引(5~10%)など各種の割引サービスをご用意しています。

【新国立シアタートーク】

プログラムC

日時:5月22日(水)終演後

出演:福崎那由他、渋谷謙人、寺十 吾/仙名彩世、田中 亨

司会:中井美穂

入場方法:本公演チケット(いずれの日程でも可)をご提示ください。

一挙観劇でおトク! セット券も販売!

●フルセット券(公演プログラム引換券、1枚付き!) 31,500円

正価の  
約18%OFF

●プログラムA、B、Cセット券 20,100円

正価の  
約13%OFF

●プログラムC、D、Eセット券 20,100円

正価の  
約13%OFF

●プログラムA、Bセット券 13,800円

正価の  
約10%OFF

●プログラムD、Eセット券 13,800円

正価の  
約10%OFF



## 『デカログ 1～10』 公演概要



### 『デカログ 1～10』

【公演日程】2024年4月13日(土)～7月15日(月・祝)

デカログ1～4(プログラムA&B 交互上演):2024年4月13日(土)～5月6日(月・休)

デカログ5～6(プログラムC):2024年5月18日(土)～6月2日(日)

デカログ7～10(プログラムD&E 交互上演):2024年6月22日(土)～7月15日(月・祝)

【会場】新国立劇場 小劇場

【原作】クシシュトフ・ケシロフスキ/クシシュトフ・ピェシェヴィチ

【翻訳】久山宏一 【上演台本】須貝 英 【演出】小川絵梨子/上村聡史

【公式 HP】<https://www.nntt.jac.go.jp/play/dekalog/>

【一般発売日】2024年2月17日(土)10:00～

### デカログ7～10(プログラムD・E 交互上演) 2024年6月22日(土)～7月15日(月・祝)

#### プログラムD(デカログ7、デカログ8)



#### デカログ7 ある告白に関する物語

演出:上村聡史

出演:吉田美月喜、章平、津田真澄

大滝 寛、田中穂先、堀元宗一朗、笹野美由紀、伊海実紗

安田世理・三井絢月(交互出演)

亀田佳明



#### デカログ8 ある過去に関する物語

演出:上村聡史

出演:高田聖子、岡本 玲、大滝 寛

田中穂先、章平、堀元宗一朗、笹野美由紀、伊海実紗

亀田佳明

#### プログラムE(デカログ9、デカログ10)



#### デカログ9 ある孤独に関する物語

演出:小川絵梨子

出演:伊達 暁、万里紗、宮崎秋人

笠井日向、鈴木将一朗、松本 亮、石母田史朗

亀田佳明



#### デカログ10 ある希望に関する物語

演出:小川絵梨子

出演:豎山隼太、石母田史朗

鈴木将一朗、松本 亮、伊達 暁、宮崎秋人、笠井日向、万里紗

亀田佳明